

## 議事概要

開催日時：令和 7 年（2025 年）1 月 9 日木曜日 14:00～18:08

委 員：別紙 1（委員名簿等）記載のとおり（委員 5 名中 5 名出席）

関 係 者：国土交通省 港湾局 海洋・環境課（3 名）

事 務 局：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（5 名）

### 【議事要旨】

1. 冒頭、前回会議から本委員会の委員構成に変更がないことを踏まえ、引き続き、佐々木淳委員が、本委員会の委員長としての職務を引き続き執行し、当会議においても議長となることにつき、その余の委員らにも異議ないことが確認された。  
また、当会議において審議の対象となる各申請につき、利害関係を有するおそれがある旨の申告等がある委員については、当該申請の具体的な審議がなされる際には、離席その他の方法により審議に適宜参加せず、これにより、その審議の公正さを手続的に確保し、適正手続の要請を満たすべきこととされている。  
そこで、当会議の審議に先立ち、当会議における審議対象である各申請について、利害関係を有するおそれがある旨の申告が、別紙 2（J ブルークレジット審査認証委員会令和 6 年度第 3 回審議対象申請一覧）記載のとおり、それぞれなされたことも確認された。  
その上で、各委員において、該当する各申請の審議に際しては、議場からの一時退出等、また、議長退出等の際には、委員らの互選により選定された鈴木委員が議長を代行して議事を進行することとされ、委員会の審議に不当な影響を及ぼすことのないよう適切な措置を講ずべき旨が確認された。
2. 最初に、個別の申請に関する具体的な審議検討に先立ち、P/Bmax 比と確実性評価のそれぞれについて、科学的に妥当と考えられる標準に関する審議が行われた。
3. 続いて、委員らが当会議の開催前に申請書及び添付資料を確認し、検討した別紙 2 記載の各申請のうち、特に重点的に対面審議すべき点を中心として具体的な審議検討が行われ、各申請内容等を踏まえ、それらの具体的な藻場面積等の確実性及び吸収係数の確実性（以下、これらを併せて「確実性」という。）の評価等に関して審議がなされた。
  - (1) まず、別紙 2 記載の各申請のうち、新規申請プロジェクト（12 件）の各審議・採決が個別に行われた。その審議の経過及び結果の概要は、別紙 3（J ブルークレジット審査認証委員会令和 6 年度第 3 回審議経過・結果一覧）の表 1（新規申請プロジェクト）にそれぞれ記載のとおりである。  
このうち、申請（JBC00000193）【高松庵治】については、当該申請を差し

戻し、所要の修正を経て、再度あらためて当委員会において審議すべきものとされた。

- (2) 次に、別紙 2 記載の各申請のうち、継続申請プロジェクト（12 件）の各審議が行われた。その審議の経過及び結果の概要は、別紙 3（J ブルークレジット審査認証委員会令和 6 年度第 3 回審議経過・結果一覧）の表 2（継続申請プロジェクト）にそれぞれ記載のとおりである。

このうち、申請（JBC00000192）【須磨】については、あらかじめ回避すべき旨を申告していた中西委員が一時オフラインとなり、その余の委員らによる審議採決が個別に行われた。

また、申請（JBC00000183）【江井島】、申請（JBC00000142）【増毛】、申請（JBC00000149）【君津】の 3 件の申請については、佐々木委員があらかじめ回避すべき旨を申告していたことから発言を差し控えることとして、鈴木委員が議長代行として議事を進行し、このうち申請（JBC00000149）【君津】については、あらかじめ回避すべき旨を申告していた岡田委員が発言を差し控えることとした上で、これらの申請を一括審議・採決した。

最後に、その余の 9 件の申請のうち、申請（JBC00000190）【尾道】については、あらかじめ回避すべき旨を申告していた岡田委員が発言を差し控えることとした上で、これらの申請を一括審議・採決した。

4. 以上のとおり審議・採決を行い、会議は終了した。

J ブルークレジット 審査認証委員会（令和 6 年度第 3 回）

別紙 1

委員名簿等

令和 7 年（2025 年）1 月 9 日現在

	氏 名	所 属 等	専 門 分 野	
委 員	岡田 知也	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 海洋環境・危機管理研究室長	沿岸環境、生態系サービス等	出 席
委員長	佐々木 淳	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	沿岸環境、環境再生等	出 席
委 員	鈴木 健司	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター センター長兼検証審査部長	クレジット算定・検証・認証、 オフセット制度等	出 席
委 員	中西 敬	徳島大学環境防災研究センター 客員教授	生態系工学、沿岸域の環境修復	出 席 [Web]
委 員	長谷川夏樹	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源開発センター 沿岸生態系寒流域グループ グループ長	水産増養殖、海藻類等	出 席 [Web]

## J ブルークレジット審査認証委員会令和 6 年度第 3 回審議対象申請一覧

管理番号		プロジェクトの名称	審議等回避申告
JBC00000169	新規	熊本県芦北町アマモで魚いっぱい！夢いっぱい！ブルーカーボンプロジェクト！	
JBC00000175	新規	渡り鳥と人をつなぐ大阪南港野鳥園 ～人工干潟整備による環境保全～	
JBC00000177	新規	”藍の AMAKUSA 宝島” 未来へつなぐ藻場再生プロジェクト	
JBC00000178	新規	昆布の里・南かやべの「函館真昆布」を未来へ繋ぐプロジェクト	
JBC00000182	新規	陸奥湾蓬田村の漁業者とともに取り組むアマモ場の保護・造成活動	
JBC00000193	新規	藻場造成構造物による瀬戸内海復権プロジェクト	岡田委員
JBC00000196	新規	世界遺産を有する宗像藻場再生プロジェクト	岡田委員
JBC00000201	新規	長崎県新上五島町（上五島地区・有川地区）における藻場再生・保全活動	
JBC00000202	新規	須崎市藻場復活プロジェクト	
JBC00000203	新規	「海の森」を救おう：みやぎのワカメが育む、未来の海づくり！	長谷川委員
JBC00000145	新規	北海道森町（森地区・砂原地区）地先における鉄鋼スラグを用いた藻場造成	佐々木委員
JBC00000180	新規	北海道鹿部町地先における鉄鋼スラグを用いた藻場造成	佐々木委員
JBC00000163	継続	岩国市神東地先におけるリサイクル資材を活用した藻場・生態系の創出プロジェクト	
JBC00000170	継続	利尻富士町のリシリコンブを活用した BC 事業～日本のだし文化を守る取り組み～	
JBC00000171	継続	長崎県実りの島壱岐イスズミハンターいきいきプロジェクト	
JBC00000183	継続	明石市江井島周辺を中心とした藻場造成「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト	佐々木委員
JBC00000184	継続	大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクト in 徳山下松港	
JBC00000190	継続	尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり	岡田委員
JBC00000191	継続	豊饒な伊勢志摩における環境配慮型「あおさのり養殖」の未来に向けて	
JBC00000192	継続	「神戸の須磨海岸を里海に」 Suma 豊かな海プロジェクト	中西委員
JBC00000197	継続	昭和から続く北海道えりもの天日干し日高コンブの生産と藻場再生による CO2 吸収	
JBC00000209	継続	海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ	
JBC00000142	継続	北海道増毛町地先における鉄鋼スラグを用いた海藻藻場造成	佐々木委員
JBC00000149	継続	千葉県君津市沿岸における鉄鋼スラグを用いた地盤改良技術による海藻藻場造成	岡田委員、佐々木委員

J ブルークレジット 審査認証委員会（令和 6 年度第 3 回）

別紙 3

J ブルークレジット 審査認証委員会令和 6 年度第 3 回審議経過・結果一覧

表 1（新規申請プロジェクト）

管理番号	実施場所	審議	審議経過に関する摘記事項	妥当性確認	認証	備考
JBC00000169	芦北	個別		可	可	
JBC00000175	大阪南港	個別		可	可	
JBC00000177	天草	個別		可	可	
JBC00000178	南茅部	個別		可	可	
JBC00000182	蓬田	個別		可	可	
JBC00000193	高松庵治	個別	岡田委員は一時退席。その余の委員らにより審議。	差戻し	差戻し	
JBC00000196	宗像	個別	岡田委員は一時退席。その余の委員らにより審議。	可	可	
JBC00000201	新上五島	個別		可	条件付可	従来の手法により算出した平均被度を採用することにつき申請者了解を事務局において確認。
JBC00000202	須崎	個別		可	可	
JBC00000203	宮城	個別	長谷川委員は一時オフライン。その余の委員らにより審議。	可	可	
JBC00000145	森・砂原	個別	佐々木委員は一時退席。鈴木委員が議長代行となり、その余の委員らにより審議。	可	条件付可	事務局において資料内容確認。
JBC00000180	鹿部	個別	佐々木委員は一時退席。鈴木委員が議長代行となり、その余の委員らにより審議。	可	条件付可	事務局において資料内容確認。

J ブルークレジット審査認証委員会（令和6年度第3回）

表2（継続申請プロジェクト）

管理番号	実施場所	審議	審議経過に関する摘記事項	妥当性確認	認証	備考
JBC00000163	岩国	一括		可	可	
JBC00000170	利尻	一括		可	可	
JBC00000171	壱岐	一括		可	可	
JBC00000183	江井島	一括	佐々木委員は一時発言差控え。鈴木委員が議長代行となり、その余の委員らにより一括審議。	可	可	
JBC00000184	周南	一括		可	可	
JBC00000190	尾道	一括	岡田委員は一時発言差控え。その余の委員らにより一括審議。	可	可	
JBC00000191	伊勢志摩	一括		可	可	
JBC00000192	須磨	個別	中西委員は一時オフライン。その余の委員らにより審議。	可	可	
JBC00000197	えりも	一括		可	可	
JBC00000209	仙崎	一括		可	可	
JBC00000142	増毛	一括	佐々木委員は一時発言差控え。鈴木委員が議長代行となり、その余の委員らにより一括審議。	可	可	
JBC00000149	君津	一括	岡田委員、佐々木委員は一時発言差控え。鈴木委員が議長代行となり、その余の委員らにより一括審議。	可	可	